

田万里川支川における有機フッ素化合物のモニタリング調査結果（R8.8月）について

令和8年9月14日 広島県環境県民局環境保全課

1 概要

- 令和7年10月から12月に、竹原市及び東広島市の田万里川支川において、有機フッ素化合物（以下「PFOS等」という。）が指針値50ng/L^{※1}を超過していることが確認された。（最大200ng/L）
- これに伴い、この地域における河川の水質の推移を継続的に監視するため、県、竹原市及び東広島市が連携し、超過地点を含む河川3地点において、令和8年8月27日にモニタリング調査を実施した。

※1 体重50kgの人が一生涯、毎日2リットル飲用したとしても、この濃度以下であれば健康に悪影響が生じないと考えられる水準

2 調査結果等

(1) 調査実施日

令和8年8月27日

(2) 調査結果（調査地点は別図参照）

- 今回調査を行った河川3地点において、引き続きPFOS等が指針値を超過していることを確認した。（63ng/L～240ng/L）

調査地点		PFOS及びPFOA(合算値、ng/L)		調査機関	指針値
		前回調査結果 R8.5月	今回調査結果 R8.8月		
①	田万里川支川 南	<u>200</u>	<u>240</u>	県・東広島市	50ng/L PFOS及び PFOAの合算値
②	田万里川支川 西	<u>150</u>	<u>63</u>		
③	田万里川支川	<u>70</u>	<u>110</u>	県・竹原市	

3 今後の対応

- 国が定めた「PFOS及びPFOAに関する対応の手引き 第3版」（令和8年6月環境省）に基づき、県は、竹原市及び東広島市と連携し、指針値を超過した河川水について、引き続き定期的な水質調査を実施し、水質の推移を監視する。

(別図) モニタリング調査地点位置図 (●河川調査地点)



電子国土 WEB (国土地理院) を加工して作成

(別表) 今回の調査結果の詳細

調査地点		濃度 (ng/L)			調査機関	指針値
		PFOS 及び PFOA (合算値)	PFOS	PFOA		
①	田万里川支川 南	240	61	180	県・東広島市	50ng/L (PFOS 及び PFOA の合算値)
②	田万里川支川 西	63	22	41		
③	田万里川支川	110	32	83	県・竹原市	

※2 調査結果は有効数字2桁で処理した値を掲載しているため、「PFOS 及び PFOA (合算値)」の値は必ずしも「PFOS」「PFOA」の結果の合算値とは一致しない。

(参考) これまでの調査結果 (R7. 10 月～)

調査地点		PFOS 及び PFOA (合算値、ng/L)				調査機関	指針値
		R7. 10-12 月	R8. 2 月	R8. 5 月	R8. 8 月		
①	田万里川支川 南	<u>200</u>	<u>180</u>	<u>200</u>	<u>240</u>	県・東広島市	50ng/L (PFOS 及び PFOA の合算値)
②	田万里川支川 西	49	<u>77</u>	<u>150</u>	<u>63</u>		
③	田万里川支川	<u>130</u>	<u>57</u>	<u>70</u>	<u>110</u>	県・竹原市	